

### 3-6. 尾畑酒造株式会社による「学校蔵プロジェクト」

- 尾畑酒造株式会社では「学校蔵プロジェクト」と銘打ち、地域の素材と環境を活かした新しい酒造りに取り組んでいる。4年前に閉校した、佐渡市西三川の日本一夕陽がきれいと言われた旧西三川小学校の校舎を借り受け、教室の一部を改装して日本酒の仕込み部屋と麹室(こうじむろ)を設置し、2014(平成26)年5月から実際に仕込みを行ったところである。
- 旧西三川小学校は、美しい海と夕陽が望める景勝地にある学校であったため、こうした魅力を生かして、一般の方が日本酒造りを本格的に学ぶ場としての活用も検討されている。国内外で酒の販売や提供に携わる人の体験も受け付け、1週間以上の滞在を条件に、酒造りの工程を実際に学んでもらう構想もある。様々な場所からあらゆる立場の方たちが佐渡を訪れることで、かつての地域コミュニティの中心にあった小学校が新たな交流拠点の場として持続的に活性化することを目指した取り組みである。
- 2011(平成23)年からは芝浦工業大学の建築工学科の学生とコラボレーションして、学校蔵内のテーブルや本社内の販売カウンター製作といった「ものづくり」に取り組んでいる。また2014(平成26)年8月には研究者やコンサルタントなど有識者を招いて、「佐渡の未来を考える特別授業」を行った。市民や企業団体、行政関係者ら約50人が空き教室を利用した会場に集まり、授業を受けた。どちらも学校蔵が地域の交流拠点として活用される新しい試みと言えよう。
- 酒蔵は昔からその土地に根付いており、今後も場所を移るということは考えにくく、地域にとっての存在価値が高い。そのような酒蔵が域内外からの人々を集める試みを行うことは観光・交流拠点としてのまちづくりに寄与しており、さらなる地域活性化も期待できよう。



学校蔵 (旧西三川小学校)



仕込み部屋・麹室



「佐渡の未来を考える特別授業」の光景

(写真出所) 尾畑酒造株式会社HPより掲載



芝浦工業大学・蟹沢ゼミ「ものづくりコラボ」